

2010.6.3 (木) 晴れ 深坂峠 (福井・滋賀県境) ふたり



深坂古道案内①

936 新正田駅 1008 紫式部歌碑 1042 深坂峠 1055-1104 深坂地蔵 1125 鶴が丘バス停 1155-1204 沓掛集落・昼食 1238 近江塩津 その後、JR で新正田に戻る



古道入口②



峠に向かう



深坂峠③



左が踏み跡の消えつつある自然歩道④

気になる峠道のひとつ。春の花の季節が過ぎていたので峠道ではツツナミソウくらいであったが、集落ではショウブやカンゾウ、コデマリなど多くの花と出会う。

深坂地蔵あたりは林道もあり、幾分進むべき道に迷うこともあるが、踏み跡優先で素直に進めばいい。峠から地蔵までは自然歩道があるが、草茫々であり、林道がベター。

このコースのポイントは鶴が丘と近江塩津の間をどうこなすかだ。一般には近江塩津や木之本からバスで鶴が丘下車で新正田に行くコースのようだ。



深坂地蔵案内⑤



深坂地蔵⑥



地点④とつながる道（踏み跡薄い） ⑥



鶴が丘バス停⑦

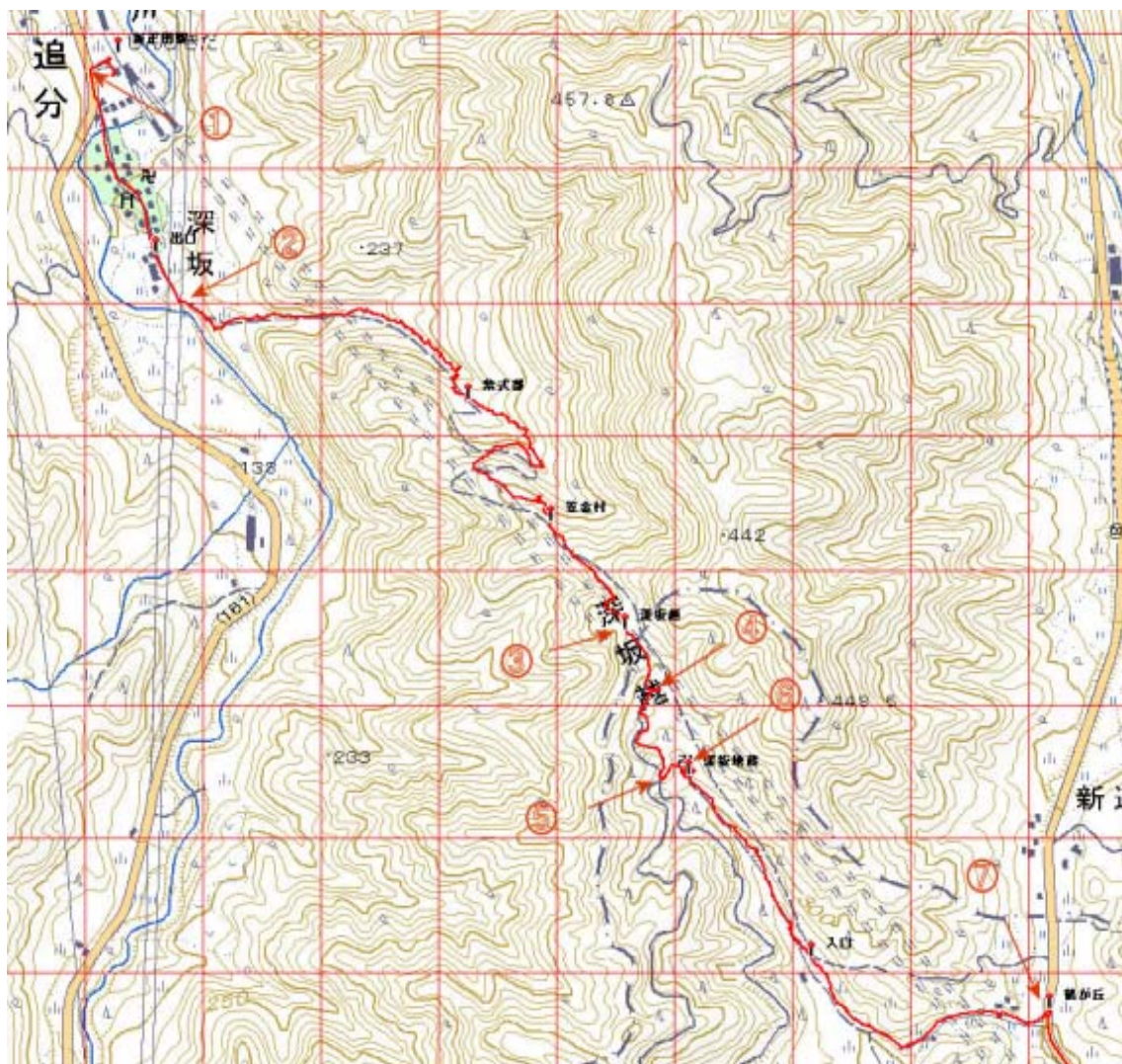


近江塩津駅

我々は新正田発とし、鶴が丘でバス乗車の予定であったが、鶴が丘着が1.5時間前となり、待ちきれず近江塩津までの歩きとなった。

後半の沓掛から近江塩津までは集落内の道や歩道があり、快適であったが、前半の

鶴が丘から沓掛までは8号線の歩きとなり、トラックの通過を目の前で見ながらの危ない歩きであった。結果的には写真集に載せたタクシー利用が **BEST** です。調査不足を反省。バスは9時と15時の間で1本（13：10）です。——鶴が丘発



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）及び数値地図 50mメッシュ（標高）を使用したものである。

（承認番号 平17総使、第290号）

[トップページ（おじさんの山旅4）に戻る](#)